

Fw:東北活動紹介



「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

Fw:東北活動紹介

「新しい東北」の創造に向けた ワークショップ企画等業務



復興庁「新しい東北」官民連携推進協議会の連携づくりを通じ、首都圏を含めた「新しい東北」の創造に関心にある方の交流、情報発信の強化を目指し、「Fw:東北Weekly」や「新しい東北」交流会(年度末を予定)を企画・実施。

「Fw:東北Weekly」では、同協議会の「Fw:東北」の取組み、プロジェクトを紹介。東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間30本程度)予定。

Fw:東北活動紹介

「Fw:東北」の活動はFacebookページで発信しています



<https://www.facebook.com/fwtohoku/>

Facebook内で「Fw東北」「フォワード東北」を検索



2018 **5/24**
19:00~21:00

場所 復興庁 621会議室

東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎4号館

東北の食を全国へ

石巻・大森・南島原の コミュニティマーケティング最前線

◆ 参加費 無料

◆ 定員 30名

◆ 主催 復興庁

東北の食を全国へ 石巻・大森・南島原のコミュニティマーケティング最前線

日時 2018.5.24(木) 19:00～21:00 場所 復興庁 621会議室

企画概要

石巻の水産加工会社が個社の枠を超えて、地域づくりに寄与し、新しい石巻の名産品を創るために連携した石巻うまいもの株式会社。昨年度の共創イベントでは、東京都大森とのコミュニティ連携によるマーケティングで、首都圏の嗜好性を開発段階で織り込んだ「石巻金華茶漬け」の商品開発に成功しました。今回は、東北の被災地と大都市圏という二地域でのコミュニティマーケティングのプロセスを振り返り、さらに、同じく共創による商品開発がすすむ長崎県南島原市からも担当者に参加いただき、三つの地域の視点を交えて、全国的に東北の魅力を最大化する方策について考える場にします。

登壇者

◆ 平塚 隆一郎

石巻うまいもの株式会社 取締役 副社長

1959年、石巻市生まれ。おでん、サバ味噌煮など魚惣菜を製造販売する「山徳平塚水産」社長。東日本大震災による津波で、石巻港近くにあった3つの工場・事業所を失う。2011年秋、八戸市や一関市の工場に製造を委託して事業を再開。2013年春、石巻に新工場を再建。同年、「石巻うまいもの発信協議会」に参画し、同協議会から設立された石巻うまいもの株式会社にて、取締役副社長を務めている。

◆ 釧持 勝

イー・リゾート代表/有限会社地方創発計画取締役

1961年生まれ。新潟県湯沢町出身。越後湯沢の岩原スキー場に15年間勤務。その後人材育成を核に、スキーリゾート等民間観光事業再生、およびニセコ地域をはじめとした様々な地域の再興とDMO組成を手がける。NPO観光情報学会理事、H.I.S国内旅行事業本部顧問、長野県観光振興アドバイザー、秋田県観光振興プラン検討委員兼アドバイザー兼事務局、北海道大学大学院情報科学研究科非常勤講師、首都大学東京産業技術大学院大学・社会人学び直し高度人材育成プログラム開発委員兼専門教員、A-FIVE 6次産業化中央サポートセンター認定6次産業化プランナー、および中小機構東北震災復興支援アドバイザーなどを歴任。

◆ 建山 和徳

ウェブレイス 代表 / 一般社団法人みがく 代表理事 / 南島原市そうめん営業課 / 島原手延そうめん大使

IT×福祉×スポーツをテーマに活動中。2016年に長崎県南島原市にて開催された「いなかソンin南島原」にてそうめんチームを結成して最優秀賞を受賞し、南島原市公認の島原手延そうめん大使に就任。島原手延そうめんの知名度向上のためにイベント開催やサンプリング活動・レシピ開発などを行っている。

プログラム

参加対象者

19:00 開会メッセージ

19:10 キーノート

「共創、コミュニティマーケティングで生み出す地域のプロジェクト」
スピーカー：原 亮(エイチタス株式会社 代表取締役)

19:30 紹介事例

「石巻うまいもの株式会社の挑戦と金華茶漬け」
スピーカー：平塚隆一郎(石巻うまいもの株式会社 取締役 副社長)

19:50 マッチングトーク

「コミュニティマーケティング、その後の発展を考える」
ゲスト：釧持勝(イーリゾート代表)・建山和徳(南島原市そうめん営業課)

20:30 LIKEorJOIN / コミットメントカード記入

20:50 Fw:東北活動紹介 / 閉会メッセージ

- ・食関連の事業を手掛けている方等
- ・水産加工関連との連携に関心のある方等
- ・地域での共創やその後の展開に関心のある方等
- ・東日本大震災からの復興や被災地域の地方創生に関心のある方等
- ・その他、本イベントに関心のある方等



◀ 平成29年度
Fw:東北・共創イベントの様子

主催：復興庁／企画運営：NECソリューションイノベータ株式会社(受託事業者)



「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ <https://www.facebook.com/fwtohoku/>

【注意事項】 ※復興庁のエントランスで案内スタッフが待機しております。 ※会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。



2018 **5/31**
19:00~21:00

場所 **Yahoo! LODGE**

東京都 千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 ヤフー株式会社
※アクセス https://lodge.yahoo.co.jp/access_pc.html

下記URLよりお申し込みください。

<http://atarashii-tohoku.peatix.com/>

新しい東北の街づくり事例

2018 岩手県沿岸部のリノベーション、
シェアリングの最前線

◆ 参加費 無料

◆ 定員 30名

◆ 主催 復興庁

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

「Fw:東北Weekly」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による、「Fw:東北」の取組み、プロジェクトをご紹介します。東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間30本程度を予定)します。

新しい東北の街づくり事例 2018 岩手県沿岸部のリノベーション、シェアリングの最前線

日時 2018.5.31(木) 19:00～21:00 (開場 18:30) 場所 Yahoo! LODGE

企画概要

発災から7年が経ち、民間と行政が連携して、これまでにない街づくりの事例が増えてきています。

岩手県宮古市に江戸時代から残る商家「東屋」を、地域の新たな文化拠点としてリノベーションする「ヒガシ・デ・アエル」プロジェクト。そして、東北で生まれた新たな手法として、消滅の危機にある古民家を村(ビレッジ)に見立てて再生させていく「シェアビレッジ」プロジェクト。

それらの先に見える、東北の新しい街づくりのモデルをみなさんとともに考える場です。

『ヒガシ・デ・アエルプロジェクト』 とは

400年前の慶長三陸津波災害の復興のまちづくりとして整備され、東日本大震災の津波から奇跡的に耐え残った、宮古市本町地区に江戸時代から残る貴重な歴史的建築「東屋」(あずまや)を、地域の新たな拠点としてリノベーションする活動としてスタート。「ヒガシ・デ・アエルプロジェクト」は東屋の東、本州最東端の東。そして陽が最初に昇り、様々な恵みと出会いをもたらしてきた、三陸沿岸の海の文化の持続と発展をテーマとした事業です。

登壇者

◆ 有坂 民夫

編集企画や映像、出版、ゲーム、インターネット、コンサルティング等、数々の事業経験を経て、30代前半で有限会社コンテンツ計画を立ち上げ。各地の地域づくり事業などに携わりつつ、2016年9月、岩手県宮古市にある江戸時代から続く商家「東屋」の蔵を映画の上映スペースとして活用した文化創造拠点づくり「シネマ・デ・アエル プロジェクト」をスタート。同活動からまちづくりへの展開をはかる「ヒガシ・デ・アエル プロジェクト」へ展開させ、地域が自走するための裏方として奔走する。

◆ 武田 昌大

秋田県出身。立命館大学卒業後、東京にてデジタルコンテンツ業界に従事。2010年、若手米農家集団トラ男を結成し、米の販売、ブランド化を手掛ける。2015年より、クラウドファンディングを活用し、秋田県五城目町の築134年の茅葺き古民家を活用した「シェアビレッジ(sharevillage.jp)」を立ち上げる。2016年、内閣府地域活性化伝道師に就任。2017年にはおむすびスタンド「ANDON」を日本橋・小伝馬町にオープン。地域活性に向け、ユニークかつ精力的な活動を続けている。

プログラム

参加対象者

19:00 開会メッセージ

19:10 キーノート

「奇跡的に耐え残った400年の復興の街
宮古・本町のシンボル商家のリノベーション」
スピーカー：有坂 民夫
(ヒガシ・デ・アエル準備委員会 事務局長)

19:50 ショートワーク

「わたしが考える東北の街づくり」
コメンテーター：武田 昌大(シェアビレッジ 村長)

20:30 LIKEorJOIN / コミットメントカード記入

20:50 Fw:東北活動紹介 / 閉会メッセージ

- ・歴史的施設を活かした地域の拠点づくりに関心がある方等
- ・シアターを活用した文化コンテンツによるにぎわい創出に関心がある方等
- ・伝統芸能や食などの地域資源の活用に関心がある方等
- ・復興からはじまるまちづくりの活動に関心がある方等
- ・地域からの起業家育成やICT・IoT活用などの新たな取り組みに関心がある方等
- ・その他、本イベントに関心のある方等

主催：復興庁／企画運営：NECソリューションイノベータ株式会社(受託事業者)

「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ <https://www.facebook.com/fwttohoku/>



2018 **6/7**
19:00~21:00

場所 C-Lounge

東京都千代田区内神田1-15-10

※アクセス <https://goo.gl/5s1n7Y>

【最寄り駅】

◆JR神田駅西口徒歩7分

◆都営新宿線小川町駅

B6出口徒歩4分

参加申込

下記URLよりお申し込みください。

<https://goo.gl/RG4cqg>



東北の中山間地域での復興・創生

福島県の歴史ある温泉地から挑む
関係人口づくり

◆参加費 無料

◆定員 30名

◆主催 復興庁

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

「Fw:東北Weekly」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による、「Fw:東北」の取組み、プロジェクトをご紹介します。東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間30本程度を予定)します。

東北の中山間地域での復興・創生 福島県の歴史ある温泉地から挑む関係人口づくり

日時 2018.6.7(木) 19:00～21:00 (開場 18:30) 場所 C-Lounge

企画概要

福島県田村郡小野町。郡山市の南東に隣接し、小野小町の生誕伝説もあるこの町は、自然噴出する源泉を有する小町温泉を抱えながらも、震災とその風評被害により、旅館が次々に休業、廃業し、源泉も使われることなく川に注ぎ込まれている状況にあります。

企画趣旨

震災から7年を経た今、こうした福島県の中山間地域の復興創生に向けて、どのような現状認識やアプローチが有効か。そして、地域の人々の思いはどこに向かおうとしているのか。Fw:東北Weeklyでは、昨年度のアイデアソンに引き続き、この課題を皆さんと考えていきます。

ゲストには、地域の温泉組合として唯一残った小町温泉組合の代表、二瓶晃一さんと、同地の支援をボランティアで続けているシェアリングビジネスプロデューサーの田中直史さんをお招きし、昨年度のアイデアソンから発展したプランを元に、さらに具体的な施策を検討します。

今年度「地域づくりハンズオン支援事業(共創イベント型)」の支援対象ともなった小町温泉組合の取り組みに、多くの方々のご参加をお待ちしております。

登壇者

- ◆ 二瓶 晃一 (小町温泉組合 代表)
- ◆ 田中 直史 (シェアリングビジネスプロデューサー)



プログラム

19:00 開会メッセージ

19:10 キーノート

「小町温泉から小野町の復活・創生を目指して」(仮)
 スピーカー: 二瓶 晃一 (小町温泉組合 代表)
 コメンテーター: 田中 直史
 (シェアリングビジネスプロデューサー)

19:50 小町温泉から描く中山間地域の将来像プランのアイデアソン

20:30 LIKEorJOIN / コミットメントカード記入

20:50 Fw:東北活動紹介 / 閉会メッセージ

参加対象者

- ・ 中山間地域の復興・創生に関心のある方等
- ・ 温泉地の復活から地域の将来像を描くことに関心のある方等
- ・ 関係人口・交流人口の拡大について関心のある方等
- ・ その他、本イベントに関心のある方等

主催: 復興庁 / 企画運営: NEC ソリューションイノベータ株式会社 (受託事業者)



「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ <https://www.facebook.com/fwtohoku/>

【注意事項】 ※会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。



2018 **6/14**
19:00~21:00

場所 サイボウズ株式会社 東京オフィス

東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー 27階

※アクセス <https://goo.gl/nBBh7J>

参加申込

下記URLよりお申し込みください。

<http://bit.ly/2Lpz2Oj>



食の共創で生み出す地域ブランド

被災地間コラボで生まれたメニューのストーリーを描く

◆ 参加費 無料

◆ 定員 30名

◆ 主催 復興庁

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

「Fw:東北Weekly」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による、「Fw:東北」の取組み、プロジェクトをご紹介します。東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間30本程度を予定)します。

食の共創で生み出す地域ブランド 被災者間コラボで生まれたメニューのストーリーを描く

日時 2018.6.14(木) 19:00～21:00(開場 18:30) 場所 サイボウズ株式会社 東京オフィス

地域課題

岩手県大船渡市では「さかなグルメのまち大船渡」として、地域の身近で有力な地域資源の一つである「さんま」を活用し、市民から観光客に至るまで、地域内外の人々が楽しめる地域ブランドづくりを進めています。魚介類という沿岸部の多くに共通する資源を武器に、なお地域の個性を出しながら賑わいを生み出すための方策が求められています。

企画趣旨

ユニークな着想でさんまの活用が進む大船渡。昨年は、Fw:東北の共創イベントでさんまを活かした食の商品づくりとして、熊本とのコラボで新メニューを開発しました。

今回のFw:東北Weeklyでは、被災地間の共創で生まれたメニューを題材に、地域の個性を光らせるための共創の輪をさらに広げることで、そのプロセスを前進させる試みを行います。共創のパートナーとして、デザイナーの三沢紫乃氏と、ご参加のみなさまに加わっていただき、商品としてのストーリーづくりのワークも行い、さらなる共創に挑む場となります。

登壇者

◆ 松川 直史 (大船渡市 商工港湾部 観光推進室 主任)

平成14年岩手大学大学院 電気電子工学専攻修了。その後5年間、岩手県立高等学校講師として数学を教える。平成20年に大船渡市役所に入庁。東日本大震災の際には、市民生活環境課に所属しており、防疫活動、火葬場運営、遺体安置所対応、仮設トイレの設置等にあたる。平成23年7月から現職、観光関連業務を担当し、昨年から「さかなグルメのまち大船渡」関連業務に携わる。

◆ 三沢 紫乃 (グラフィックデザイナー/野菜ソムリエ)

1973年宮城県仙台市生まれ。1995年千葉大学工業意匠学科卒業後、株式会社ノエビア商品企画部デザイナー(3年)、佐藤卓デザイン事務所デザイナー(8年)を経て、2012年hanauta works(ハナウタワークス)独立開業。グラフィックデザインを中心に、クラフトデザイン、プロダクトデザイン、スペースデザイン、等仕事は多岐にわたる。JAとの商品開発からパッケージデザインのプロジェクトにも取り組む。子どもの教育分野における活動にも積極的に参加する。グッドデザイン賞をはじめ、受賞歴多数。

プログラム

19:00 開会メッセージ

19:10 キーノート

「さんまのまち大船渡が挑む復興コラボメニュー」(仮)
スピーカー: 松川直史(大船渡市 商工港湾部 観光推進室 主任)

19:30 食の商品に伝える力を吹き込むワークショップ(仮)
講師: 三沢紫乃(グラフィックデザイナー/野菜ソムリエ)

20:30 LIKEorJOIN / コミットメントカード記入

20:50 Fw:東北活動紹介 / 閉会メッセージ



◀ 平成29年度
Fw:東北・共創イベントで
開発した新メニュー

参加対象者

- ・被災地間の連携による商品開発に関心のある方等
- ・食関連の商品デザインやストーリー作りに関心のある方等
- ・その他、本イベントに関心のある方等

主催: 復興庁 / 企画運営: NEC ソリューションイノベータ株式会社 (受託事業者)



「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ <https://www.facebook.com/fwtohoku/>

【注意事項】 ※会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。



東北の地域課題解決を考える場として、平日の19:00から2時間程度を基本に、ミニアイデアソン等の共創イベントを都内で開催した。



「共創力で進む東北プロジェクト」 週次イベント紹介

No.	日付	テーマ	主なテーマ提供団体
No.1	2017/5/23(火)	共創力で進む東北プロジェクト プレキックオフ&ミーティング	—
2	2017/6/20(火)	「ヒガシ・デ・アエル」～400年の復興まちづくりと歴史的商家のリノベーションによる文化・観光拠点の創造～	シネマ・デ・アエル 実行委員会
No.3	2017/6/30(金)	東北IT県人会	東北IT県人会
4	2017/7/21(金)	シェアリングエコノミーを活用した「共助」によるまちづくり・産業づくり	宮城県気仙沼市
No.5	2017/7/27(木)	「新しい東北」× 仕事旅行 with 宮城県山元町	宮城県山元町
6	2017/8/3 (木)	リアルタイム流通で農産物を繋ぐICT地域商社	株式会社 Concept-Village
No.7	2017/8/24(木)	復興ダイアログ「企業とNPOと市民で未来を創る対話会」	—
No.8	2017/8/29(火)	「鯉に恋する郡山」プロジェクト2017	福島県郡山市
9	2017/9/7 (木)	地域間交流のコラボレーションによる食やまちのブランド向上	さかなグルメのまち大船渡 実行委員会
No.10	2017/9/13(水)	LTT (ライトニング東北トーク)	—
11	2017/9/21(木)	第二回復興ダイアログ～企業・行政・NPO・市民で未来を創る対話	—
12	2017/9/28(木)	被災地外でのファン醸成による ダイレクトコミュニティマーケティング	石巻うまいもの株式会社
No.13	2017/10/6 (金)	アロハシャツアイデアソン	サムライアロハ プロジェクト
14	2017/10/12(木)	ダイバーシティを体現する官民一体の まちづくりスキームの構築	一般社団法人 マルゴト陸前高田
15	2017/10/19(木)	福島県でのオープンデータプラットフォームの構築	福島オープンイノベーション 推進コンソーシアム
16	2017/10/26(木)	シニアプログラマー育成におけるオーダーメイド型教育モデル の場づくり	シニアプログラミング ネットワーク
No.17	2017/10/27(金)	「新しい東北」地域づくりハンズオン国見町	福島県国見町
No.18	2017/11/9 (木)	釜石・東北の「おもてなし」とインバウンドについて考えよう アイデアソン！	NPO法人 かまいしリンク
19	2017/11/15(水)	東北におけるインアウトバウンド2.0 の創出	一般社団法人 東北インア ウトバウンド連合
20	2017/11/22(水)	伝統工芸の継承課題を3D・VR・AI で解決する オープンプログラム	大堀相馬焼窯元 松永窯
No.21	2017/12/13(水)	子ども服のシェアと子育て世帯の交流について考える アイデアソン！	NPO法人 ピースジャム
No.22	2017/12/25(月)	家族でプログラミングしてみよう！ 東北発のほやアートを つくってみよう！～次世代へ繋ぐ東北との共創のバトン	—

No.1 後続ページにPick Up写真があります。

「共創力で進む東北プロジェクト」 週次イベント紹介

No.	日付	テーマ	主なテーマ提供団体
No.23	2018/1/25(木)	福島から新しい復興の花を広げたい！ 福島県川俣町が挑戦するアンスリウム栽培の未来を考える アイデアソン＆フラワーアレンジメント	ポリエステル媒地活用 推進組合
No.24	2018/2/14(水)	福島の伝統ある温泉から復興のまちおこしを！ 福島県小野町で90年の歴史をもつ温泉旅館を交流人口拡大の 拠点にしたいアイデアソン	有限会社 磐山荘濱太屋
No.25	2018/2/22(木)	日本酒を中心に伝統工芸品などをライフスタイルに 浸透させることについて考えるアイデアソン	公益財団法人 福島県観光物産交流協会

No.1



5/23：共創力で進む東北プロジェクト
プレキックオフ&ミートアップ

No.3



東北全域

6/30：**東北IT県人会**
～東北のオープンイノベーションは
ITで切り拓けるか？～

No.5



宮城県

7/27：「新しい東北」× 仕事旅行
with 宮城県山元町

No.7



8/24：**復興ダイアログ**
「企業とNPOと市民で未来を創る対話会」

No.8



福島県

8/29：**福島県郡山市発**
「鯉に恋する郡山」プロジェクト2017

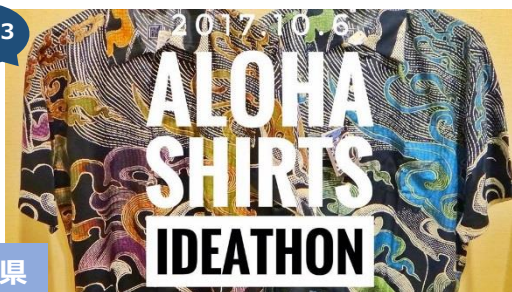
No.10



9/13：LTT（ライトニング**東北**トーク）

「共創力で進む東北プロジェクト」 週次イベント紹介

No.13



宮城県

10/6 : アロハシャツアイデアソン

No.17



福島県

10/27 : 「新しい東北」
地域づくりハンズオン国見町

No.18



岩手県

11/9 : 釜石・東北の「おもてなし」と
インバウンドについて
考えようアイデアソン！

No.21



宮城県

12/13 : 子ども服のシェアと子育て世帯の
交流について考えるアイデアソン！

No.22



宮城県

12/25 : 家族でプログラミングしてみよう！
東北発のほやアートをつくってみよう！
～次世代へ繋ぐ東北との共創のバトン～

No.23



福島県

1/25 : 福島から新しい復興の花を広げたい！
福島県川俣町が挑戦するアンスリウム栽培
の未来を考えるアイデアソン＆
フラワーアレンジメント

No.24



福島県

2/14 : 福島の伝統ある温泉から復興の
まちおこしを！ 福島県小野町で90年の
歴史をもつ温泉旅館を
交流人口拡大の拠点にしたいアイデアソン

No.25



福島県

2/22 : 日本酒を中心に伝統工芸品などを
ライフスタイルに浸透させることについて
考えるアイデアソン